

# 平成 28 年度 山口大学全学 FD・SD 講演会

メインテーマ

## 学修達成度の評価および可視化を考える

—教育を変え、学生の主体的な学びを誘発させるために—

主旨：

中教審の「新たな未来を築くための大学教育の質的変換に向けて」（以下、質的転換答申（平成 24 年 8 月））では、今後、速やかに取り組むことが求められる事項として、学位授与の方針の下で、学生に求められる能力をプログラムとしての学士課程教育を通じていかに育成するかを明示すること、プログラムの中で個々の授業科目が能力育成のどの部分を担うかの認識を担当教員間の議論を通じて共有し、他の授業科目と連携し関連し合いながら組織的な教育を展開すること、さらに、プログラム共通の考え方や尺度（アセスメント・ポリシー）に則った成果の評価、その結果を踏まえたプログラムの改善・進化という一連の改革サイクルが機能する全学的な教学マネジメントの確立を図ることを求めている。すなわち、**Outcomes** をベースにした教育課程の構築と体系化および学修到達度の評価方法について検討することを求めている。

そこで、本年度の全学 FD・SD 講演会では、学修達成度の評価、特にその可視化の方法について考える。さらに、開発された評価システムを活用して学生の主体的な学びをどのように誘発させるかを考える。このために、この分野で先進的に取り組まれている 2 つの大学の先生方を招聘し、学修達成度の評価および可視化の方法や当該システムを活用した学生の主体的な学びに結び付けていく方法等について紹介していただくとともに、今後、本学が全学的に導入を目指している YU CoB CuS のしくみや意義を全学で共有する。さらに、パネルディスカッションを通して、学習達成度の評価や可視化に向けての課題とその解決策、評価システムを活用した個々の学生のリフレクション（振り返り）を通した主体的な学びに結び付ける指導方法等について考えていきます。ぜひ多数の教職員の方々の参加を期待しています。

講演テーマ： DP の達成度の評価および可視化を考える

講師： 岡山大学全学教育・学生支援機構副機構長 佐々木 健二 教授  
新潟大学学位プログラム支援センター 後藤 康志 准教授

主催： 大学教育機構（共催：大学コンソーシアムやまぐち）

日程： 平成 28 年 8 月 10 日（水）13:30～16:30

場所： 吉田地区：共通教育メディア講義室（主会場）

常盤地区：工学部 E 3 1 教室

小串地区：医学部総合研究棟 8 階 多目的室

※遠隔講義システムを利用して常盤地区および小串地区とも同時開催する。

※コンソーシアムやまぐちに参加する大学の内、希望する大学に対して、ネット配信する予定です。

参加対象： 本学の教職員及び学生（関係する TA・SA を含む）並びに県内他大学の教職員及び学生

講演の概要：

講演の概要：

第 1 部では DP の達成度を可視化するシステムである新潟大学学士力アセスメントシステム（NBAS）を平成 22 年度より導入している新潟大学、全学的に学習達成度の可視化を目指す評価システムである学士課程教育構築システム（Q-cum）を導入している岡山大学の 2 つの事例を紹介してもらいます。

第 2 部のパネルディスカッションでは、最初に国際総合科学部の川崎教授から本学の国際総

合科学部がすでに導入している YU CoB CuS の概要と課題を説明していただいた後に、学習達成度の可視化を目指す評価システムの開発及び運用をめぐる課題や、当該システムを利用した学生の自主的な学びを誘発させるための工夫や教育的な効果について、パネルディスカッションを通して明らかにしていきたいと考えています。

**(講演会当日の日程)**

13 : 00～13 : 30 受付  
13 : 30～13 : 35 挨拶 (福田 隆真 理事・副学長 (教育学生)、大学教育機構長)

**第 1 部 DP 達成度の可視化についての先進事例紹介**

13 : 35～13 : 40 講師紹介 (星野 晋 大学教育センター主事・国際総合科学部准教授)

13 : 40～14 : 25 事例 1 : 新潟大学学士力アセスメントシステム (NBAS) について  
講師 新潟大学学位プログラム支援センター

後藤 康志 准教授

14 : 25～15 : 10 事例 2 : 学士課程教育構築システム (Q-cum) について

講師 岡山大学全学教育・学生支援機構副機構長

佐々木 健二 教授

15 : 10～15 : 25 休憩・会場設定

**第 2 部 パネルディスカッション (YU CoB CuS の説明を含む)**

15 : 25～15 : 40 本学の DP 達成度の可視化 (YU CoB CuS) について

川崎 勝 国際総合科学部教授

15 : 40～16 : 25 「DP の達成度可視化をめぐる課題と学生への教育的効果」

パネリスト :

岡山大学全学教育・学生支援機構副機構長

佐々木 健二 教授

新潟大学学位プログラム支援センター

後藤 康志 准教授

山口大学国際総合科学部

川崎 勝 教授

山口大学大学教育センター

朝日孝尚センター長

司会・ファシリテータ : 小川 勤 (大学教育センター副センター長・教授)

16:25～16:30 まとめ・閉会 朝日 孝尚 大学教育センター長

マネジメント : 小川 勤 (大学教育センター 内線 5085)

**～ 全学 FD・SD 講演会への参加申し込み方法 ～**

①所属部局②氏名③職名④会場 (吉田, 常盤, 小串の別) をご記入の上, 下記までメールでお申し込みください。

**【申込先】教育支援課教育企画係**

**Email : [ga115@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:ga115@yamaguchi-u.ac.jp) (メール) 内線 5150**

※資料準備の都合上, **8月5日(金)まで**にお申し込みください。なお, 当日参加も可能です。

(お願い) メールタイトルの必ず「**8月10日開催全学FD講演会 参加申込み**」としてください。